

## 環境にやさしい みどり豊かなまち

### 施策

# 環境への負荷の 少ない持続可能な 社会をつくる

### 現状・課題

これまで、私たちは便利で快適で、そして豊かな生活を求め、今日の高度な社会経済システムをつくりあげてきました。

しかし、そうした社会は一方で、川や海の水質汚濁、自動車の排気ガスによる大気汚染などの公害問題、大量の廃棄物にまつわる問題を引き起こしてきました。

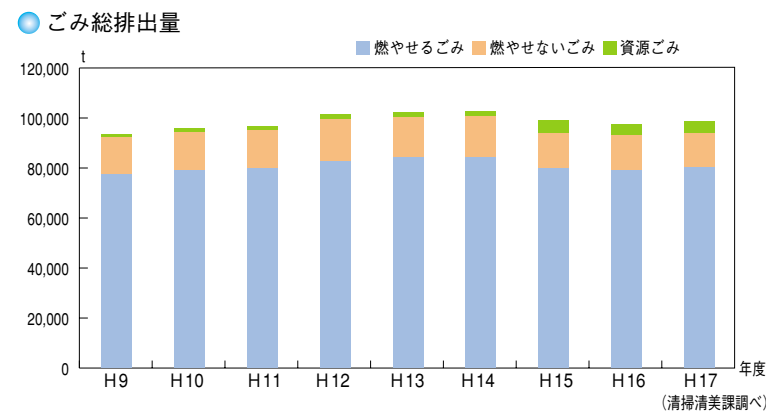
さらに、近年では、地球温暖化\*1などの地球環境問題が、私たちや将来世代にかかわる大きな課題になってきています。

これらの課題に対処するために、私たちは、これまでの事業活動や一人ひとりの生活のあり方を見直していかなければなりません。

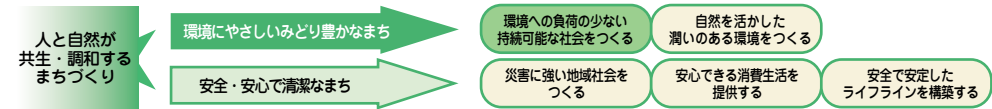
そうして、先人から受け継いできた福井の恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境への負荷の少ない持続可能な社会をつくることが求められています。

### 施策の方向性

- ・ 地球温暖化の防止
- ・ 廃棄物の発生抑制
- ・ 海や川の汚染防止



●用語説明 \*1 地球温暖化：人間活動が活発になるのに従って、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量が増え、地球全体の温度が上昇し気候への様々な影響が懸念される現象。  
\*2 新エネルギー：「新エネルギー法」(新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法)において、「すでに技術的に実用段階にあるが経済性の面で普及が十分でない」として積極的に導入促進を図るべき政策支援対象として位置づけられている。太陽熱利用や風力発電、廃棄物発電などのほか、従来の化石燃料を用いた天然ガス自動車、燃料電池なども含まれる。  
\*3 環境マネジメントシステム：事業活動や製品などによる環境負荷、環境リスクを少なくすることを目的に、企業が自らの環境保全の取組みと結果を評価し、それを基に改善を行いながら、新たな取組みを進めていくための仕組み。  
\*4 市民一人当たりの年間CO<sub>2</sub>排出量：家庭における電力消費量、都市ガス消費量、LPガス消費量、灯油消費量、水道消費量から算出。  
\*5 管渠：各家庭の水洗面所や台所等から排出される汚水を処理場に運んだり、道路や屋根に降った雨を川や湖に排除するための施設。  
\*6 BOD：水中の汚染物質(有機物)が、好気性の微生物によって酸化・分解される過程で必要とされる酸素量のこと。



### 課題を解決するために

#### 基本柱1 二酸化炭素の排出量を減らす

地球温暖化の最大の原因物質であるCO<sub>2</sub>排出量を減少させるために、エネルギー利用の適正化、市民の環境保全活動を推進する。

中 柱	内 容
環境負荷の少ないエネルギー利用の推進	◎ エネルギーに関する学習・啓発の推進 ◎ 新エネルギー*2・省エネルギー設備の普及促進 ◎ 公共施設への太陽光発電設備等の導入推進
環境保全活動の推進	◎ 環境教育・環境学習の推進 ◎ 環境活動に関する地域リーダーの支援、育成 ◎ 環境保全活動・環境活動団体への支援
環境マネジメントシステム*3の普及・推進	◎ 事業者向け環境ISO(エコアクション21ふくい)の普及促進 ◎ 家庭版環境ISOの普及促進 ◎ 学校版環境ISOの普及促進 ◎ ISO14001の取得啓発 ◎ 市役所のISO14001の推進
公共交通機関の利用促進(再掲)	◎ 公共交通機関の利用促進 ◎ 公共交通活性化に関する調査研究 ◎ 公共交通機関の維持に関する支援 ◎ 自家用車に頼らない移動手段の確保

指標 64	市民一人当たりの年間CO <sub>2</sub> 排出量*4	基準値(H17)	1.60 t	目標水準(H23)	1.28 t
指標 65	家庭版環境ISO参加家族数	基準値(H17)	6,909家族	目標水準(H23)	10,000家族

#### 基本柱2 資源循環型社会の仕組みをつくる

リサイクル商品の利用推進や、廃棄物の排出量を減少させるため、市民、企業、行政が一体となって発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)の推進に取り組む。

中 柱	内 容
廃棄物の発生抑制	◎ 減量化の計画策定、推進体制の確立 ◎ 廃棄物減量化の促進、意識啓発 ◎ 分別収集の徹底
廃棄物の有効利用	◎ 資源回収の体制づくり ◎ 廃棄物資源化の推進
廃棄物の適正な処理	◎ ごみの適正な収集運搬及び処理施設の維持管理 ◎ 広域的な収集処理体制づくりの検討 ◎ 不法投棄の防止

指標 66	ごみの資源化率	基準値(H17)	15.1%	目標水準(H23)	25.7%
指標 67	1日一人当たりのごみ排出量	基準値(H17)	1,044 g	目標水準(H23)	946 g
指標 68	買物袋持参率	基準値(H17)	14.8%	目標水準(H23)	50%

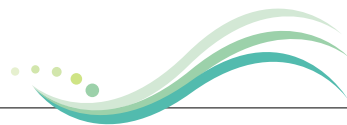
#### 基本柱3 水質汚濁による環境負荷を軽減する

生活排水に対する環境意識を高め、生活排水の処理を進める。

中 柱	内 容
効率的な排水の処理	◎ 下水道の普及拡大 ◎ 集落排水の整備 ◎ 合併処理浄化槽の普及 ◎ 管渠*5等の更新
衛生的な排水の処理	◎ 汲み取りし尿の適切な処理

指標 69	都市河川の水質(BOD)*6	基準値(H17)	3.0mg/リットル 2.4mg/リットル 4.4mg/リットル 3.5mg/リットル	目標水準(H23)	2.0mg/リットル 2.0mg/リットル 3.0mg/リットル 3.0mg/リットル
指標 70	汚水処理施設の人口普及率	基準値(H17)	77.3%	目標水準(H23)	86.3%

◎補完指標 ・事業者向け環境ISO取得数、乗用車(普・小・軽)保有台数、燃やせるごみ収集量、都市ガス普及率、環境セミナー参加者数  
・資源ごみ・特殊ごみ総計、ごみ総排出量  
・集落排水処理人口、合併処理浄化槽設置補助件数



## 環境にやさしい みどり豊かなまち

### 施策

# 自然を活かした 潤いのある 環境をつくる

## 現状・課題

近年、商業地や宅地化などの開発行為による市街地の拡大等によって、小川や里地\*1、里山などの身近にふれあえる自然が減少しています。

豊かな自然は、人々にやすらぎをもたらし、生活に潤いをもたらしてくれます。

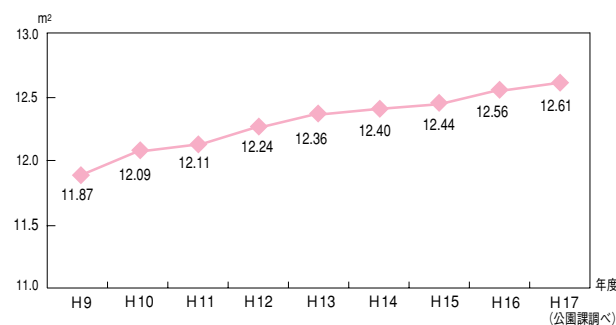
これからも、福井の誇りである豊かな自然を次世代に継承し育むために、自然環境の保全に努めると共に、ふれあい活動を推進する必要があります。

また、生態系を保全する機能、レクリエーション機能、林産物の供給機能などと併せ、平成16年の福井豪雨災害を受け、山地災害の防止機能や水源涵養林\*2機能への期待が高まっていることから、気候や土壌など自然条件に合致した針葉樹や広葉樹が混在する森林を保全する必要があります。

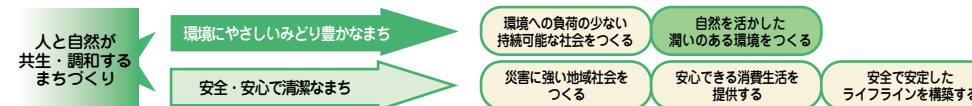
## 施策の方向性

- ・ 水とみどりを活かした潤いのある環境づくり
- ・ 豊かな自然を継承するための市民一人ひとりの取り組み

● 市民一人当たりの都市公園面積



●用語説明 \*1 里地・里山：市街地や集落などの近くにあり、自然そのものの働きと人間からの働きかけで形成されてきた場所のことで、雑木林や農地、社寺林などで構成される。  
\*2 水源涵養林：雨水を吸収して水源をもち、あわせて河川の流量を調節するための森林。  
\*3 アスベスト：「せきめん」「いしわた」と呼ばれる天然に産する繊維状けい酸塩鉱物。  
\*4 緑地面積率：緑地が地表面を覆う比率のこと。緑地とは、都市公園（街区・近隣・地区・総合・運動・広域・特殊等）や法制度（風致地区等）により将来的に保全が担保される緑の区域。  
\*5 里川：生物豊かな水辺で、身近にある川のこと。  
\*6 里親：もともとは高速道路をきれいに保つための方法として、アメリカで誕生した。（アメリカでは、「アドプト（“adopt”＝「養子にする」の意）プログラム」などと呼ばれている）住民同士が協力して地元の公共施設（道路、河川、公園など）を、あたかも自らの「養子」であるかのように世話（清掃や草刈りなど）し、その活動を行政機関が側面から支援していくもの。



## 課題を解決するために

### 基本柱1 潤いのある都市環境をつくる

市民が、都市に潤いを感じられるよう、身近に自然とふれあえる公園や水辺環境を創出する。

中 柱	内 容
都市内の緑地等の創出・保全	◎ 都市公園の整備、改修 ◎ 市民主体の緑化活動との連携・協働 ◎ 桜など地域らしさを活かした草木による街並みの創造
自然とふれあえる水辺環境の創造	◎ 農業用水を活かした水辺環境づくりの推進 ◎ 河川親水空間づくり
清潔な生活環境の確保	◎ 環境監視の強化 ◎ 環境美化の推進 ◎ アスベスト*3など有害化学物質による汚染防止

指標 71	都市計画区域の緑地面積率*4	基準値 (H17)	2.7%	目標水準 (H23)	9.3%
指標 72	市道街路樹延長	基準値 (H17)	73.8km	目標水準 (H23)	85km

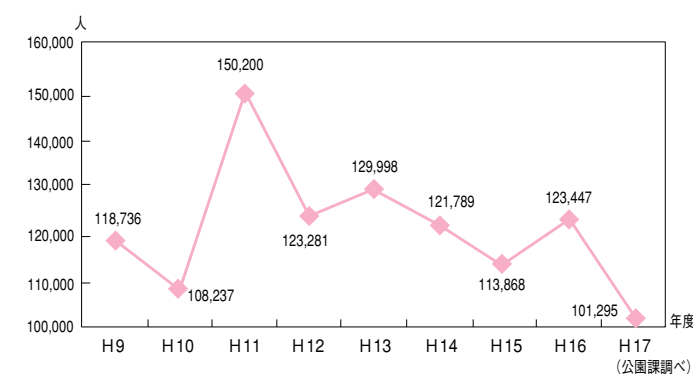
### 基本柱2 豊かな自然とふれあえる環境をつくる

恵み豊かな自然環境を守り、将来にわたり継承するために、自然の形態に応じた保全対策と市民が自然とふれあえる環境づくりを進める。

中 柱	内 容
自然環境の保全と回復	◎ 多様で質の高い森林づくり ◎ 水辺、里地の保全と回復 ◎ 地域生態系の保全
自然とのふれあいの推進	◎ 野鳥、植物、昆虫など身近な動植物とふれあえる環境づくり ◎ 森林公園等の整備
自然を継承する意識啓発	◎ 市民主体の自然環境保全活動との連携・協働 ◎ 里川*5の指定及び里親*6の育成

指標 73	森林面積	基準値 (H16)	31,948ha	目標水準 (H23)	31,942ha
指標 74	里川の指定数	基準値 (H17)	—	目標水準 (H23)	8ヶ所

● 足羽山公園遊園地入園者数



◎補完指標 ・都市公園面積、都市公園数、未供用の都市公園面積  
・国見岳森林公園入込状況、足羽山公園遊園地入園者数、除間伐面積